

富士山憲章 Newsletter

2021

3

No. 134

竜宮洞穴

(写真提供 山梨県富士山レンジャー)

第18回 富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～

富士山ボランティアセンターでは、富士山の環境保全に向けた意識や関心を深め、美しい富士山を将来にわたり守り引き継ぐことを決意した「富士山憲章」の普及定着を図るため、富士山にあてた年賀状を募集しました。38都道府県から1328点の応募があり、厳正な審査の結果、最優秀賞3点、優秀賞6点、審査員長賞1点、審査員特別賞4点、企画力賞2点、表現力賞2点、メッセージ賞2点を含めた入選200点を決定いたしました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

審査員

審査員長	櫻井 孝美 氏 (安井賞受賞画家)
審査員	松島 仁 氏 (静岡県富士山世界遺産センター 教授)
	五十嵐 哲也 氏 (山梨県富士技術支援センター 主幹研究員)
	鈴木 文晃 氏 (山梨県富士技術支援センター 主任研究員)
	小俣 直喜 氏 (山梨県立美術館 主幹)
	瀧澤 智子 氏 (山梨県立美術館 主査)
	本田 晴彦 氏 (山梨県立富士山世界遺産センター 副所長)

審査員総評

- ◆1328点ものの中から20点を選出することは、とてもエネルギーを要する作業だ。例年のことながら、甲乙つけがたい悩ましい評となった。賞外の作品にも未練が残る。全体に色彩の美しさが目立った。また、親しみを覚える作品が多数見られ、身近な富士山の存在を感じた。
- ◆昨今のコロナ状況、ソーシャルディスタンスが求められるなか、精神的な親密性を描き出した作品が目立った。何があっても変わらず、いつも美しい姿を見せてくれる富士山。このような時代こそ心の拠り所となるような存在なのかもしれない。そんな富士山への尊敬、信頼、愛情に満ちた作品に癒された。
- ◆新型コロナウイルスの影響により、社会全体が暗い雰囲気であったり、富士山へ登山することができず残念というメッセージが見られた一方、今年はそれに負けず頑張りたいといったメッセージが多かったことが特徴的であった。



古屋 絵梨果 (山梨県)

最優秀賞



小川 萌衣 (愛知県)



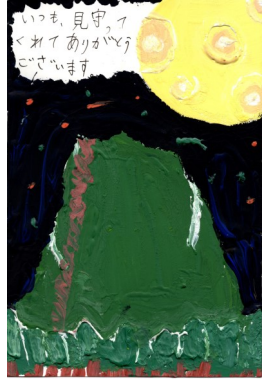
木村 沙織 (大阪府)

- ◆富士山と作者、轆轤 (ろくろ) とが一体になったような楽しい作品。
- ◆自分の将来の夢と富士山への親近感が元気いっぱい表現され、明るく希望に溢れた未来の映像が伝わるようでした。
- ◆日本平から遠望した風景でしょうか。雪舟～狩野探幽以来の伝統を咀嚼 (そしゃく) したような作品。
- ◆静けさの中の美しい一日の始まりが描かれ、日常の何気ない暮らしの風景が導くかけがえのないものとして感じられる作品でした。
- ◆繋いだ手を中心に、未来へのびる道を、その向こうの富士山と太陽が見守る構図、そして優しくあたたかな色合いがとてもよく調和して、幸せな気持ちにしてくれる力を持った作品だと思います。
- ◆作者が楽しみながら描いたであろう思いが伝わる。

優秀賞



小沢 琴音 (山梨県)



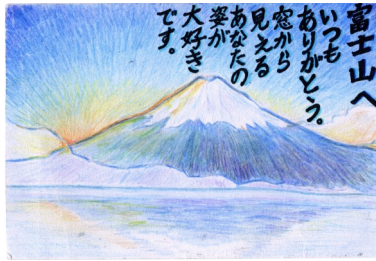
洪 引盛 (山梨県)



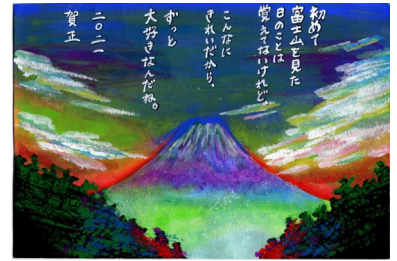
木野田 博彦 (埼玉県)



大西 亜依 (山梨県)

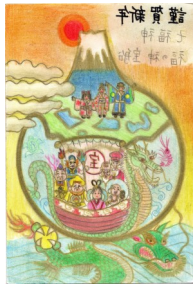


渡辺 滯 (山梨県)



中島 更紗 (山梨県)

審査員長賞



神 のぞみ (青森県)

企画力賞



持田 真那 (山梨県)



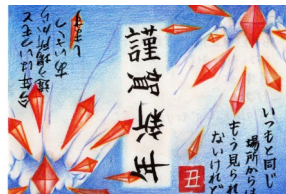
梶原 旅人 (山梨県)

審査員特別賞

表現力賞



三浦 初姫 (愛知県)



芹澤 葵 (愛知県)



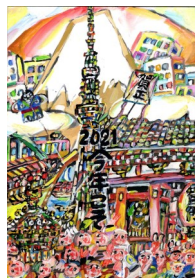
渡邊 甲惟 (山梨県)



茅沼 遥 (山梨県)



すぎ山 あらた (山梨県)



高木 政史 (東京都)

メッセージ賞



坂本 鼓牧 (山梨県)



前田 りずは (山梨県)

富士山憲章ニユース

富士山麓古タイヤ等

不法投棄防止集中キャンペーン

今年度の富士山麓古タイヤ等不法投棄防止集中キャンペーンは「道の駅 富士吉田」にて、令和2年11月21日(土)に実施いたしました。

当日は、山梨県自動車整備振興会および富士山麓環境美化推進ネットワーク構成団体協力のもと、道の駅 富士吉田に訪れた方々へ不法投棄の防止を呼びかけながら啓発物品およそ400個を配布しました。また、周辺の清掃活動も行い、可燃ゴミ11.1kg、不燃ゴミ9.7kg、合計20.8kgのゴミを回収しました。



啓発物品を配布しながら呼びかける様子

近年では、古タイヤだけでなく、電化製品、食器類、衣類などの家庭ゴミや、アウトドア用品等の不法投棄も目立ってきています。地元の方々はもとより、遠方から訪れる観光客の方々にも幅広く不法投棄の防止を呼びかけることで、多くの人が環境保全に関心を持つきっかけになればと思います。



回収したゴミを分別、計量する様子

中深くまで埋まっています。そのためシャベルやスコップなどを使い、人力で地中からゴミを掘り出しながら分別をするという地道な作業をひたすら繰り返さなければなりません。美しい富士山を後世へ引き継ぐため、今後も関係機関との連携を図り、様々な活動に積極的に参加することで、富士山や周辺地域の環境保全に努めて参ります。



一つ一つ手作業で掘り起こす作業の様子

富士山クリーンアップ事業

年の瀬迫る12月26日(土)、認定特定非営利法人「富士山クラブ」主催の富士山クリーンアップ事業(鳴沢村焼間地区清掃活動)に参加しました。

焼間地区には数十年前からまとめて捨てられたと思われる建設廃材等が地

富士山環境保全募金 寄付受納式

令和2年11月14日(土)、K-mix Music Spectrum(静岡エフエム放送株式会社)様より、富士山環境保全募金への寄付受納式が行われました。

当日は、遠方より制作本部久保田様ならびにパーソナリティのizumi様

が来所され、イベント等で販売した番組オリジナルグッズの売り上げの一部をご寄付くださいました。誠にありがとうございました。

皆様よりいただいたご寄付は、富士山の環境保全のための費用として、大切に活用させていただきます。



左から K-mix 久保田様、izumi様
富士山憲章山梨県推進会議 井出事務局員

富士山ボランティアセンターでは、清掃活動用のゴミ袋や軍手、また富士山の気象・地形・地質・動植物・歴史・文化や保全対策など様々な内容が盛り込まれた「富士山環境保全ガイドブック」を全国の皆様に無料で配布しております。ご興味がある方、富士山や山麓地域で清掃活動を検討されている方はお問い合わせください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/>



2020年10月～2021年2月

富士山レンジャー活動報告

富士山レンジャー写真展

今年度の富士山レンジャー写真展は、全14箇所において開催されました。いずれも新型コロナウイルス感染症予防のための対策に万全を期しての実施となりました。甲府の「防災新館」においては、三密回避のためのお知らせを貼ったり、展示の仕方も間隔を空けたりする等の工夫をし、また来館者の方に健康状態のご記入のご協力もお願いしました。今後の様々な催しにのぞむに際しての一つのモデルケースとなったように思います。改めて、会場をご提供いただいた各施設関係者の方々、会場に足をお運び下さった皆さんの皆様方に厚く御礼申し上げます。来年度も、更に充実した内容を企画していこうと考えています。



富士山レンジャー写真展会場@「防災新館」

富士山レンジャー

環境学習プログラム



出張講座(1月18日)@市川中学校



出張講座(2月2日)@竜王南小学校

新型コロナウイルスの影響により、環境学習会や出張講座も上半期はキャンセルや見合わせが相次ぐ結果となりました。秋以降からは、徐々に申込み・お問い合わせをいただき、感染症対策を行いつつ県内各地の小中学校で出張講座を開催しました。淋しい想いをしていた(?)レンジャーたちも、「ヨシ来た」とばかりは

りきつてのぞみました。実際、子供たちが真剣に話を聴いてくれたり元氣よく質問してくれたりと、本当に励みとなるものです。富士山を取り巻く環境は今後も大きく変化し、「富士山と人」との関係は更なる重要性を帯びて問われてくることと思われれます。そのなかで富士山レンジャーも、「富士山の環境保全」という日々の業務において得られたことを、より良いかたちでお伝え出来るよう努めていきたいと思っています。

富士山青木ヶ原樹海等 エコツアーガイドライン推進協議会

12月17日、令和2年度の「富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会」が開かれました。当協議会は、山梨県・環境省・関係行政機関・各意識者・エコツアー業者等によつて構成され、青木ヶ原樹海等の自然環境を守りつつ、適正かつ持続的な利用を図ることを目的としています。感染症予防のため、例年よりも人数を限定しての開催となりましたが、出席者の方々からは、積極的な意見が多く出されました。各方面の関係者が一堂に会し、共通の目標に向かって熱心な意見を交わす当協議会は、貴重な場であるということを再認識しました。富士山レンジャーからは、本年度の青木ヶ原樹海における巡回記録の中から、問題行為等の事案をまとめて報告しました。皆様からの情報提供等のご協力

に感謝申し上げ、今後もルールやマナーの事前周知に向け、地道な啓発活動を続けていくことなどをお伝えしました。



質疑応答の様子(富士山世界遺産センター)

冬山登山安全啓発

現在富士山は冬季閉山中です。今年も吉田口登山道の「馬返し」では、山梨県警察や関係機関と合同で安全のための指導・啓発を行っています。冬山に限らず、登山における「自己管理」の大切さと「社会的責任」の重さについて、一層のご理解をいただきたいと思っています。



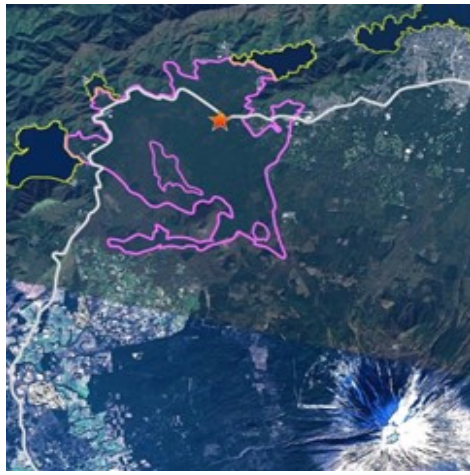
安全啓発の様子

青木ヶ原樹海の魅力

みなさんにまずはクイズです

Q 「青木ヶ原樹海」は富士山麓にある広大な森ですが、富士山のどの辺りで広さはどれくらいでしょう？

A 富士山麓北西部に位置し広さはおよそ30㎢あります。東京ディズニーランドとシーを合わせて約1㎢ですからその約30倍の面積です。



右図のピンクの範囲に広がる広大な森ですが、子供の頃、他県に住んでいた私は、何も知らずに富士山麓は全部「青木ヶ原樹海」だと思っていました。

ではもう一問。

Q 「青木ヶ原樹海」の成り立ちについて正しいのはどっち？

a 現在の富士山(新富士火山)が出来た一万年前からある太古の森

b 約千二百年前、平安時代に起きた大規模な噴火で流れ出した広大な溶岩の上にてきた比較的に新しい森

A 答えはb。千二百年と聞くと、とても古そうに感じますが、森の遷移の歴史からすると、まだまだ若い森です。さて、そんな青木ヶ原樹海の四季を少し覗いてみましょう。

樹海の四季の風景

【春】 4月に富岳風穴周辺の東海自然歩道を歩くと、歩道脇に梅に似た白い可憐な花に出逢うことができます。バイカオウレン(梅花黄連)です。



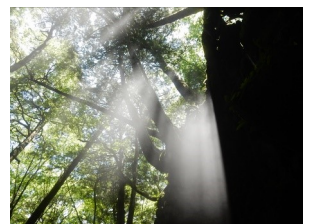
バイカオウレン



ギンリョウソウ

そして、5月から6月にかけて、樹海の中でひっそりと姿を現すのがギンリョウソウ(銀童草)です。どちらも春を彩る森の妖精のようです。

【夏】 晴れた朝、湿度が高いと富士風穴や竜宮洞穴などの洞穴入口には光と霧が織りなす光のカーテンを見ることが出来ます。そして、この時期、精進口登山道などを歩くと二輪ずつ咲く、白くて可愛らしい花が足元を華やかに盛り上げてくれます。ツルアリドオシの花です。



光のカーテン



ツルアリドオシ

さらに耳をすませば、野鳥の囀りが聞こえ、運が良ければ様々な生き物に出逢えるかもしれません。夏は生命力に満ち溢れた季節なのです。

【秋】 苔に覆われた湿潤な樹海ではキノコが多く見られます。特にホウキタケやタマゴダケ、アカヤマドリなど多種多様なキノコに出逢える季節です。

まだ若い森である青木ヶ原樹海は常緑針葉樹の森から落葉広葉樹の森に遷移しつつある段階にあるため、紅葉する樹木は少なく、赤や黄色の華やかさは欠けて地味です。そんな中で10月に注意深く歩いているとキッコウハグマ(亀甲白熊)が白い花をひっそりと咲かせているのに気づきます。歩道を歩く人々の心を和ませしてくれる可憐な花です。

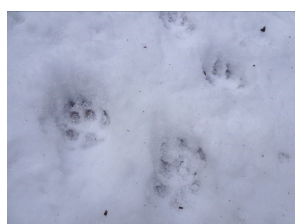


ホウキタケの仲間



キッコウハグマ

【冬】 富士山麓に雪が降り始めると樹海も本格的な冬を迎えます。この時期の楽しみは何と言っても雪に残された動物たちのフイールド・サイン。常緑樹が多くて身を隠しやすく、夜行性が多いので、動物たちの姿を捉えるのはなかなか難しいですが、雪に残された足跡は彼らの存在を教えてくれます。足跡を見つけて、「この動物は何か？」「何をしていたのかな？」と考えを巡らすのはとても楽しいものです。



動物の足跡



ミヤマシキミ

また静かな冬の樹海の中でアクセントを添えるのは、ミヤマシキミ(深山檜)などの赤い実です。

どうでしたか？「青木ヶ原樹海」と聞くと小説や映画の影響でネガティブなイメージを持たれがちですが、実は生き生きとした素敵な森であることが伝われば幸いです。

今後、富士山レンジャー通信でもここで伝え切れなかった青木ヶ原樹海の魅力をご紹介しますのでお楽しみに！

富士山レンジャー通信



<https://www.pref.yamanashi.jp/fujisan-whc/fujisanranger-tsuushin.html>

雪の世界へ踏み出そう

皆さんは冬の登山と聞くと怖い、危ないなどマイナスのイメージをもたれる方が多く、憧れはあるものの、挑戦できていないという方も多いのではないのでしょうか？



入笠山 山頂 (2月撮影)

今回紹介する入笠山はスキー場のゴンドラを使用して、1780mの山頂から往復3時間半程度で行くことが出来ます。危険な箇所もなく、途中には通年営業している山小屋もあるため、必要な装備があれば手軽で、安全なスノーレッキングを楽しめます。

入笠山は南アルプス最北端に位置して、標高1955mです。

山頂は360度の展望があり、天気が良いれば南アルプスの山々、富士山、八ヶ岳連峰、遠くには北アルプス、中央アルプスまで一望できます。

ゴンドラ山頂駅をスタートして行程の半分辺りで入笠湿原に到着します。冬季には広い雪原の広場に姿を変え、ため、ゆつくりと山ご飯やお茶を楽しむ事が出来ます。奥には緩やかな斜面が続いているので、そり遊びを楽しむのも良いと思います。ぜひ一度挑戦してみてくださいいかがでしょうか。

【参考コースタイム】

計2時間半	
入笠山頂	↑ (55分)
↓ (45分)	入笠湿原
↓ (20分)	↑ (20分)
ゴンドラ山頂駅	
※ゴンドラ上り始発 8:30	
ゴンドラ下り最終16:30	

※事前に運行情報をご確認下さい。

【無雪期の登山に追加で

必要な雪山装備】

- ・チェーンスパイク or 軽アイゼン
- ・サンダラス or ゴーグル
- ・冬用の手袋・保温ボトル

服装は一番外側に防水、防風性のあるアウター上下、内側は気温に応じて脱ぎ着し易いものがおすすめです。

冬しか見られない自然の造形



北横岳 1月撮影

「樹氷」とは氷点下5度以下の霧の中の過冷却(0度以下でも凍結しない状態)の水滴が、樹枝に付着して凍り付いたものです。

気泡を多く含むため白く見え、とてももろく、木を揺らすと崩れ落ちてしまいます。樹氷が大きく育ち原型がわからなくなったものは、「スノーモンスター」「アイスモンスター」と呼ばれ、蔵王や八甲田山などが有名です。写真①は冬季の山ではよく見る光景ですが、「エビのしっぽ」と呼ばれています。道標や木々に雪と氷がこびり

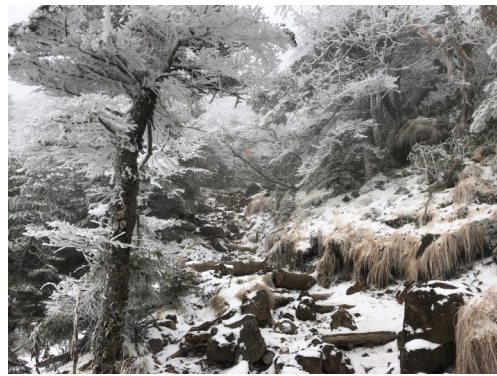
つき、覆われたものです。樹氷と粗氷が、岩や柱などに付いて風の吹いてくる方向に成長したものです。

風がなくて冷え込んだときに、木々に細かい氷がピッシリと薄く張り付いて、木が真っ白になることがあります。(写真②)これを、霧氷と呼びます。霧氷は氷点下の冷たい霧が枝や葉の表面に凍り付いてできるもので、樹氷と違って元の樹木の枝葉の形状がそのまま見られます。

遠くから見ると霧氷と同じように見える光景のひとつに雨水があります。(写真③)雨水(うひょう)は、0度以下になっても凍っていない過冷却状態の雨が樹枝や地面の物に付き、透明の膜状に凍ったものです。いずれも冬の限られた時期にしか見る事が出来ない、自然の造り出す美しい光景です。



① (北横岳 1月撮影)



② (日光白根山 11月撮影)



③ (天城山 3月撮影)



ウシ目ウシ科カモシカ

今年の干支は丑(ウシ)ですね。富士山にも野生のウシが棲息しています。それはニホンカモシカ(カモシカ)です。カモシカは、ウシ目ウシ科のヤギに近い仲間です。富士山レンジャーも巡回中に会うことがあります。

シカ(ニホンシカ)との違いはというと、ニホンシカは、ウシ目シカ科のシカの仲間です。大きなグループとしてどちらともウシ目で、爪先がチヨキの蹄です。また、どちらにも角があります。今回は、この角を中心に話を進めてみたいと思います。

カモシカの角は、雌雄どちらにもあつて、年齢を重ねることに少しずつ成長します。角の内側は頭の骨と一体で骨の芯があり、外側は爪や毛と同じ組織でおおわれています。季節により栄養状態が変わるの

で、樹木の年輪のような溝が現れます。この溝は年齢や繁殖状況を知る手がかりになります。

これに対してニホンシカの角は、雄だけにあり、一年で生え変わります。春、伸び始めた角は柔らかい皮膚に包まれています。皮下に流れる血液が、骨と同様の組織を成長させる養分を送り込んでいます。初秋に角が完成すると皮ははげ落ち、中から硬い角が現れます。そして冬から春に角は落ちてしまいます。生まれた年、角は生えませんが、二年目から角が生え始めます。1歳の時は枝のない短めの一本角、その後4歳くらいまでは年々枝分かれの数も増え、歳を重ねるごとに大きな角に変化していきます。

角のうんちく トナカイの角 オスのみ角を持つシカの仲間ですが、トナカイ(ウシ目シカ科)だけは、雌雄共に角があります。オスの角は春から秋にかけて生えています。メスの角は秋から春にかけて生えています。メスは冬場に角で雪を掘って子どもを確保するので、また、去勢されたオスも冬は角が残ります。つまりクリスマスにサンタのソリを引いているのは、メスや去勢されたオスのトナカイなのです。

雌雄両方にあつて短めだけど毎年伸びるカモシカの角と、オスだけにあつて大きく立派だけど毎年生え変わるニホンシカの角、この違いはいつなんでしょう？



ウシ目シカ科ニホンシカ

カモシカは単独生活です。一頭ごとに季節でなわばりを変えずにほぼ定住しています。秋の繁殖期も隣り合ったものでペアを組み一夫一妻が基本です。対するニホンシカは、群れることもあり、季節の変化に合わせて移動します。秋の繁殖期には、強いオスが多数のメスを獲得する一夫多妻です。

草食動物の角は、主に天敵から身を守ったり同種間で優劣を争うためにありますが、オオカミやトラがない日本では、カモシカやニホンシカの天敵はほとんどいません。そのため角はもっぱら同種間でのケンカの道具として利用されます。ただシカモシカは、先述のように定住

型の一夫一妻なので同種間での争いも少なく、強大な角を持つ必要がないと考えられます。これに対してニホンシカのオスは、多くのメスを得るための争いが激しく、大きくて立派な角を持つようになりました。さらに体の成長に合わせて角を大きくするため、毎年生え替わる必要があるのです。

角のうんちく キリンの角

キリン(ウシ目キリン科)の角は5本もあります。額中央に前角1本、頭頂部に主角2本、後頭部に後頭角2本の計5本です。皮膚に覆われたコブのような角なので天敵から身を守るためではなく、仲間同士の順位争いに使う程度です。動物園で観察してね。

富士山のカモシカは標高1500〜2400mの高所に分布していますが、御坂山塊では標高860〜900mの湖畔にも現れます。食料や地形、ライバルとなるニホンシカの存在が影響していると考えられています。フレキシブルに適応できるニホンシカに対して、崖の多い地形を好み群れることもない定住型のカモシカは、孤高の存在ですね。

日本のウィルダネスエリア

日本の国立公園は現在34地域が指定されており、ここ富士北麓も富士箱根伊豆国立公園として多くの人が訪れています。国立公園は傑出した自然や景観に対して指定され、保護のための様々な規制が敷かれています。同時に登山や観光など利用の推進も行うことで、素晴らしい自然を体験する機会を提供しています。一方で自然保護だけを目的に指定されているエリアが日本国内にもあることをご存じでしょうか？

自然環境保全地域

海外のウィルダネスエリア（自然保護区）に相当する、自然保護を目的に指定されるエリアは、「自然環境保全地域」と呼ばれ、域内におけるルールも、国立公園内で適用される自然公園法ではなく、自然環境保全法によって規定されています。比較的有名などころでは、世界遺産に登録されている白神山地や、岩手県早池峰山の稜線北側などが同地域に指定されており、これらを含めて主に国により19地域が管理されています。

またそれらの地域の中でも、人の活動を受けることなく原生的な自然環境を有している所については、

「原生自然環境保全地域」として5地域が指定されています。

遠音別（オンネベツ）岳

ところどころわたくし高橋は、国立公園で世界自然遺産にも登録されている知床半島で昨年までアクティブレンジャーとして活動しておりました（前号で自己紹介をしております）。よろしければそちらもご覧ください。当地では日本百名山である羅臼岳や5つの湖沼からなる知床五湖が景勝地として有名ですが、半島基部にそびえる遠音別岳は、原生自然環境保全地域に指定されていることもあり、その存在についてはあまり知られておりません。



遠音別岳南東斜面には手つかずの雪田が広がる

特に無雪期の状況については、山岳関係の情報誌やウェブサイト等でもほとんど掲載されていないため、この機会にご紹介したいと思います。

まさにウィルダネス（原野）

遠音別岳は北海道の斜里町と羅臼町にまたがる標高1330mの山で、アイヌ語で古い、または大きい川という意味のオンネベツをその名に冠しています。知床連山を構成する峰の一つですが、羅臼岳から硫黄山間に見られるような登山道や縦走路はなく、もちろん標識や山小屋、テント場もない、まさにウィルダネスです。

山頂までアプローチした際は、樹林帯の藪や沢を数日にわたって漕ぎ、途中の滝や岩壁を越えなければ登頂することはできませんでした。



大自然にしごかれ打ち身だらけに…

沢べりには、人の顔サイズの糞や不自然に倒れたヤブなどが見られ、また獣臭が強く漂うところもあり、ヒグマの気配が常につきまといまいます。

人の活動を受けることなく在り続ける自然は厳しく、ボロボロになりながらの山行でしたが、トレッカーの足跡など人跡が全くない雪田や山容が眼前に開けると、まるで自分が天国にいるような気分になったことを憶えています。

非常に印象深い山行でしたが、とりわけ自然保護に携わる人間として、重要な洞察が与えられた体験だったと思います。



原生自然の懐に包まれて

企画展「富士山と養蚕」

当センターの調査研究スタッフは、富士山への巡礼路を明らかにするという課題に日々取り組んでいます。

これは、富士山に対する人びとの信仰の一端を明らかにすることでもありません。ただ、一口に富士山の信仰といっても、さまざまな形があります。そこで、令和二年度冬の企画展では「養蚕」という視点から、多様な富士信仰に切り込みました。

「富士山」と「養蚕」を結ぶ

谷村(都留市)とその周辺の郡内(ぐんない)、それから南の上郡内、河口湖から西の西方(にしたかた)、上郡内の東の山方(やまかた)の各地域では、かつて養蚕が盛んに行われていました。気候や土壌が農業向けではないこの地域は、蚕の繭(まゆ)から取れる糸、それを原料にした絹や紬(つむぎ)の織物から収入を得ていました。

ところが、養蚕に不可欠な桑が霜などで枯れてしまい、蚕が全滅することもありました。人びとは死んでしまった蚕を供養するため、また、孵化(ふか)した蚕が無事に育ち良い繭

を作ってくれるようにと神仏に祈ります。

養蚕の神仏もさまざまで、その中には富士信仰にかかわるものがあるのです。

日本の養蚕の最盛期は昭和初期(一九三〇年前後)で、多くの神社やお寺では養蚕守護のお札を授けていました。しかし、養蚕がほとんど行われなくなってしまった現在では、養蚕信仰ではメジャーな蚕影神(こかげしん)の祠を見つけるのも一苦勞です。

桑を持つコノハナサクヤヒメ

北口本宮富士浅間神社や下吉田の小室浅間神社は、かつて養蚕の神社としても信仰されていました。しかし、現在では養蚕守護のお札があるわけではなく、他に何か展示できるものはないかと探し求め、浅間神社の祭神コノハナサクヤヒメが養蚕の神として表現されているものがないか、と考えました。結果的にサクヤヒメが手におそらく桑の枝を持ち「養蚕守護」の神と説明されている掛け軸に出会います。調査の過程で、小室浅間神社には、ずばり、サクヤヒメを「養蚕守護神」とうたうお札の版木がありました。右手に桑を、左手に紙の上に広げた蚕を持っています。

さらに小菅村小永田(こながた)の浅間神社には、現役のお札の版木があり、その一つは「浅間大神(あさまのおおかみ)」を養蚕と家内安全の神としていました。我が意を得たりとはこのことでした。



木花開耶姫命御影

養蚕の石塔と富士講の石碑

大月市猿橋町小沢に田中という集落があります。ここには都留市の朝日曾雌(あさひそし)に抜ける富士参詣の古い道が通っており、その道のかたわらにお堂が建っている場所があります。そのお堂の裏に、寄り添うようにして石塔と石碑が並んでいます。

石塔は文政十二年(一八二九)に建てられたもので「蚕養塔」と彫られています。蚕養は「こがい」と読むので、字が彫られている面は繭玉の形になっていて、なんとなく可愛らしさを感じます。石碑は慶応四年(明治元年(一八六八)の富士講碑です。富士講の中の村上派と呼ばれる流派

の十二世徳永が記した御見抜(おみぬぎ)の形をしています。この碑は死んでしまった蚕の供養のために、建立されたと伝わっています。元々「蚕養塔」があった養蚕信仰の聖地的な場所に、現地の村上派の富士講が富士信仰の対象となる御見抜を建てたこととなります。これはすなわち養蚕信仰と富士信仰の結合を表しているのです。



田中のお堂。お堂の裏に富士講碑と蚕養塔がある。

企画展の内容をまとめたリーフレットはセンターのホームページ上で公開しております。よろしければご覧ください。

(<http://www.fujisan-whc.jp>)

世界文化遺産登録&開館記念イベント

富士山は、平成二十五年六月二十二日に「富士山―信仰の対象と芸術の源泉―」という名称で世界文化遺産に登録されました。

そして、世界遺産登録三周年となる平成二十八年六月二十二日に、世界遺産富士山の顕著な普遍的価値を学ぶことができる施設として、山梨県立富士山世界遺産センター（以下センター）の南館が開館しました。



富士山世界遺産センター 外観

センターでは、富士山の世界文化遺産登録とセンター開館を記念し、毎年六月二十二日に様々なイベントを行っています。その一つが、富士山科学研究所と連携した「クイズラリー」です。（中学

生以下対象）。両館で様々なクイズに挑戦し、スタンプを押してもらったクイズ用紙を持参した方にオリジナルグッズをプレゼントしています。

また、世界遺産ガイド会のみなさんが、南館ガイドツアーを企画しています。富士山の魅力について分かりやすく説明しながら、ご案内します。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により中止になりましたが、今年は無事実施出来るように願っています。

詳細は事前にセンターホームページにてお知らせします。

ぜひ、ご来館ください。



【開館記念イベントスタンプ】



世界遺産ガイド会による南館ガイドツアー

「富士山の日」記念イベント

富士山の日とは、山梨県と静岡県が条例で定めた記念日のことです。

山梨県では、平成二十三年に「富士山の日条例」を制定し、その中で「富士山の豊かな自然及び景観並びに富士山に関する歴史及び文化を後世に引き継ぐことを期する日」として二月二十三日を「富士山の日」としました。



「富士山の日」スタンプと限定オリジナルグッズ

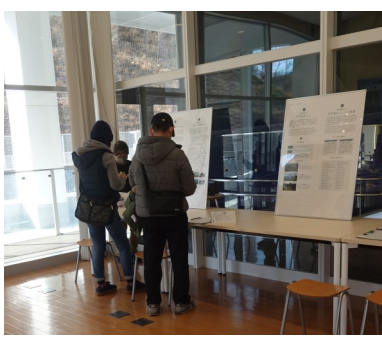
この日は、毎年様々な施設等でイベントが行われています。今年センターでは、「富士山の日クイズラリー」や「世界遺産ガイド会による南館ガイドツアー」など多様なイベントを実施しました。当日は多くの方々にご参加いただき好評を博しました。

「富士山の日」以外にもセンターでは定期的にイベントを行っておりますので是非ご参加ください。

山梨県立リニア見学センター 出展イベント

二月二十日（土）、山梨県立リニア見学センターにて富士山の日PRイベントを実施しました。イベントでは、「富士山クイズ」と「富嶽三十六景パズル」を実施しました。クイズとパズル合わせて約百名の方に参加していただき、イベントを楽しんでもらいながら、富士山について学んでいただきました。参加者には、缶バッジやクリアファイル、日本手ぬぐいなどといった富士山に関するノベルティグッズをプレゼントしました。

コロナ禍でイベントの実施が困難な状況ではありますが、人数制限や会場の消毒など、感染防止対策を徹底して行いながら、今後も世界遺産富士山の顕著な普遍的価値を広く伝えていきたいと思っております。



【イベントの様子】

第18回 富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～入賞・入選作品展

以下の日程で、入賞・入選作品200点の作品展を行います。富士山への様々な思いのつまった年賀状をぜひ会場でお楽しみください。

4月 3日 (土) ～ 4月20日 (火)	道の駅なるさわ (鳴沢村)
4月23日 (金) ～ 5月20日 (木)	河口湖ショッピングセンターBELL (富士河口湖町)
5月29日 (土) ～ 6月12日 (土)	モンベル御徒町店 (東京都台東区)
6月18日 (金) ～ 7月 6日 (火)	三ツ峠グリーンセンター (西桂町)
7月 9日 (金) ～ 7月29日 (木)	ふじさんミュージアム (富士吉田市)
8月 2日 (月) ～ 8月30日 (月)	山梨中央銀行本店 (甲府市)
9月17日 (金) ～10月 7日 (木)	なかとみ和紙の里現代工芸美術館 (身延町)
10月14日 (木) ～10月31日 (日)	富士山樹空の森 (静岡県御殿場市)
11月 2日 (火) ～11月14日 (日)	山中湖村役場 (山中湖村)
11月16日 (火) ～11月28日 (日)	四季の杜おしの公園 小池邦夫絵手紙美術館 (忍野村)

※各会場の休業・休館日や開館・営業時間に関しては、各会場にお問い合わせください。

※今後、他の会場でも追加開催する予定です。詳細は次のURLをご覧ください。

https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/topics/no18_kinga_top.html



富士山環境学習支援プログラムのお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、多くの人が富士山とふれあい、知識を深め、富士山を愛する心や環境保全の意識を育むことを目的とした、富士山レンジャーによる富士山学習の支援事業を実施しております。交通費や謝礼は一切必要ありません。各種研修にぜひご活用ください。

実施日・時間	原則として平日の毎日 (年始年末を除く) 9時30分～16時の時間のうち30分～
対象	各種団体、企業等、児童、生徒、学生 (教員向け研修もあります)
定員	最大25名まで (プログラムの内容により異なります。)
申込み	原則として希望日の1か月前までにお申込みください。

※詳細は下記よりご確認ください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan/manabo/manabo001/index.html>

富士山憲章 (行動規範)

- 一 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、富士山の環境保全への協力を訴え、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくことを目的としています。

■編集・発行 富士山ボランティアセンター (富士山憲章山梨県推進会議)

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1
(富士山世界遺産センター北館内)
TEL: 0555-20-9229 FAX: 0555-72-4114
E-MAIL: fujisan@eps4.comlink.ne.jp

本誌のバックナンバーは下記よりダウンロードできます。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全関連イベントのメールマガジンを希望する方は、「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメールマガジン」の会員登録画面より登録してください。

<https://www.yamanashi-kankou.jp/mailmagazine/index.html>